

研究委員会報告書

新・ホワイトカラーの働き方

～より短い時間で、より大きな成果を生み出すために～

発行のお知らせ

【本件のお問合せ先】

愛知県経営者協会
研究委員会事務局
名古屋市中区栄 2-10-19
名古屋商工会議所ビル 7 階
TEL：052-221-1931
FAX：052-221-1935

愛知県経営者協会「成果につながる働き方」研究委員会（委員長：豊島半七 当会副会長、豊島（株）代表取締役社長）は、このたび、報告書「新・ホワイトカラーの働き方 ～より短い時間で、より大きな成果を生み出すために～」を以下のとおり発行いたしました。

1. 研究委員会について

我が国企業の国際競争力の強化のため、ホワイトカラーの働き方の見直しが求められていますが、「時間に縛られない働き方」の導入による解決は難しい状況です。このため、現行法制の下、適正な労働時間で、より成果を高める働き方を目指し、会員企業から派遣された人事担当の課長クラスの委員が、昨年 8 月から本年 3 月まで計 10 回の会合を経て本報告書を取りまとめました。

2. 報告書の概要

会員企業の人事担当者（回答者数 211 社）および委員企業の従業員（回答者数 346 名）に対する調査結果をもとに把握した働き方に係る制度や意識等の現状について、「4 つの切り口」から考察を行いました。そして、抽出した「4 つの課題」の解決に向けた方策について、37 の企業事例をもとに解説しています。

調査結果

- ・従業員の 77%が「(自身の) 仕事の出来栄え重視」により時間外労働が発生すると考えている。
- ・従業員の 51%が「自己の裁量で行うものであれば、長時間労働も厭わない」と考えている。
- ・企業が従業員の人事評価で重視する項目は、「個人の成果・業績」(64%)や「取り組み姿勢」(46%)であり、「業務効率化・労働時間短縮」については 17%に過ぎない。
- ・82%の企業が「時間外労働防止のための啓蒙活動」に取り組むが、こうした活動について、年間を通じて計画的に取り組む企業は、半数に満たない。

考察結果

- ・組織的なルール・仕組み、従業員の姿勢・意識の両面から、従業員が「時間を意識して行動する」ことは難しく、「限られた時間の中で生産性を高める」のではなく、「『より多くの時間』をかけて成果を高める」という行動をとりがちになると考えられる。

課題解決に向けた方策

- ・「従業員個人任せから企業が主体となって、課題解決に向けた取り組みを強力に推進する必要がある。」ため、人事制度をはじめ、企業全体のルール・仕組みづくりに着目した方策を検討。

※ 本報告書は、会員企業などに配布いたします。（会員企業へは 6 月 2 日（月）発送予定）
また、1 部 1,000 円（会員企業の追加注文は 1 部 500 円）で一般販売いたします（送料別）。

以上